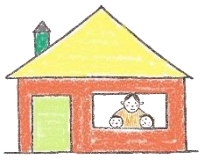
今月の絵本

おじいさんが森で落としたてぶくろに動物たちが次々と住みはじめる、寒い季節にぴったりのウクライナの昔話です。

さくら新聞

～笑顔de共育て～

令和３年２月１日発行
石神井町さくら保育園
〒177-0041
練馬区石神井町７－25－45
TEL　3997-0070
FAX　3997-0972

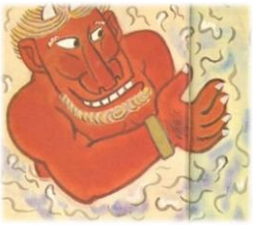


月の主題　寒さに負けず過ごそう

今月の保育のねらい
・健康に配慮し、寒さに負けず元気に過ごそう

節分の豆まきについて

毎年節分の日、保育園では太鼓の音と共に、赤鬼と青鬼が園庭にやって来て、子どもたちが果敢に豆をまき、保育園から鬼を追い出す・・・というのが毎年の光景でした。



厚生労働省の人口動態調査によると、平成 26 年から令和元年までの 6 年間に、食品を誤嚥して窒息したことにより、14 歳以下の子どもが 80 名死亡していました。そのうち 5 歳以下が 73 名で 9 割を占めていました。

これを受け**消費者庁から、窒息・誤嚥事故防止のため、豆やナッツ類など、硬くてかみ砕く必要のある食品は５歳以下の子どもには食べさせないようにとの注意喚起文が出されました。**

そこで、園庭での豆まき後の豆を子どもが拾い、口にしてしまうかもしれないリスクを考え、今年から**豆まきを実施しない**ことにしました。

一方で、節分の意味や由来はこれまでどおり、年齢に合わせて絵本などで伝え、5 歳児クラスでは『炒り豆作り』『焼い嗅がし作り』を経験として子どもたちと共に引き続きやっていこうと思います。

『今』を大切にすること

コロナの感染が広がり、２回目の緊急事態宣言が発令され、コロナの終息がいつになるのか分からない今、子どもたちも私たち大人も日々、不安というストレスの中で過ごしています。

『母の友』２月号（福音館書店）に 98 歳の染色作家、画家、絵本作家である柚木沙弥郎（ゆのきさみろう）氏のインタビュー記事が載っていました。

たまたま、昨年の２月に自由が丘のインテリアショップで柚木氏の個展を観に行っていたので、身近に感じながら読み進めると、つい後ろ向きになってしまいがちな今を、ろうそくの光のような暖かい言葉で包んでくれる内容でしたので、柚木氏の作品と共にご紹介いたします。

「今」を大切にすること。当たり前のようだけれど、今って今しかないからね。お日さまの光だって、ちょっと時間が変われば、光の色や強さが変わってゆくでしょ。今というこの一瞬を大事にして、何かを ポジティブに見つけてゆこうという気持ちを持つこと。小さなお子さんと一緒に過ごしている方は、子どもと一緒にものを眺める楽しみもあるよね。それが絵本であれ、道路の脇の昆虫であれね （中略）

「いいもの」っていうんじゃなくて「好きなもの」を探すっていう姿勢もおすすめ。人が何かを好きになるっていうのは直感的なことだものね。理屈じゃないの。（中略）他のだれかはどうか知らないけれど、私は好きだなっていうことを大事にしてください。そういうことがあると楽しいじゃないですか。

子どもたちに好きなことが増えること、好きな人が増えること、『今を』大切にすることが、豊かな人生につながると信じていきたいです。

2月 行事予定

日	曜日	内　容
2	火	節分
4	木	全園児歯科健診
9	火	身体計測（乳児） おはなし会（幼児）
10	水	身体計測（幼児）
12	金	保護者会（3 歳児）
15	月	保護者会（2 歳児） 情報伝達訓練
16	火	さくらアートくらぶ４歳児
17	水	保護者会（1 歳児）
18	木	保護者会（4 歳児）
19	金	保護者会（0 歳児）

※避難訓練は予告なしで行います。
※おはなしのへやは、引き続きお休みします。
＊実習生のお知らせ
2/8～2/22 ⇒ 白梅学園大学、大妻女子大学
2/16～3/11 ⇒共立女子大学
PCR 検査を受診した上で、実習に入ります。

延期していた区立保育園情報伝達訓練について

令和３年２月 15 日（月）

「情報伝達訓練アンケート」へのご協力も併せてお願します。
一斉メールの URL のクリックにご協力ください。